

高齢者の肺炎球菌感染症予防接種についての注意事項

【予防接種を受ける前に】

(1) 一般的注意

- ① 体温は接種を受ける医療機関で測りましょう。
- ② 説明書をよく読んで、気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師に質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。
- ③ 予診票は接種をしてくださる医師への大切な情報です。接種を受ける方が責任を持って記入し、できない場合は、身内の方に代筆してもらいましょう。本人の意思確認ができない場合は接種できません。

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 接種当日、明らかに発熱（一般的に、体温が 37.5℃以上）のある人
- ② 重篤な急性疾患にかかっている人
- ③ 肺炎球菌感染症予防接種の接種液に含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな人
「アナフィラキシー」とは、通常接種後 30 分以内に起こるひどいアレルギーのことで、発汗、急に顔が腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐（おうと）、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。
- ④ その他、医師が不適切な状態と判断した場合

(3) 予防接種を受けるに際し、担当医とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓、じん臓、呼吸器、肝臓、血液等の基礎疾患を有する人
- ② 過去にけいれんの既往のある人
- ③ 過去に免疫不全と診断されている人及び、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人

【予防接種を受けた後の一般的注意事項】

- ① 肺炎球菌ワクチンの副反応の多くは 24 時間以内に出現します。特に接種後 30 分間は健康状態の変化に気をつけ、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- ② 接種当日はいつも通りの生活をし、入浴してもかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

問合せ先

新居浜市保健センター

〒792-0811 新居浜市庄内町4-7-17

TEL (0897) 35-1070

FAX (0897) 37-4380